

第4回神奈川県安全性向上委員会

議事次第

日時：平成18年11月20日（月）10:00～12:00
場所：パシフィックホテル横浜B1F プリンスの間

1. 開 会

2. 挨 捶

3. 議 事

- 1) 委員会規約（改正案）について
- 2) 第3回議事録概要（案）について
- 3) 委員会の議題について
- 4) 「交通安全見える化」プランについて
- 5) 要対策箇所の整備効果及び検証（案）について
- 6) 新規要対策箇所の抽出基準（案）について
- 7) 広報活動の考え方・進め方（案）について

4. 閉 会

資 料

- 資料-1 委員会規約（改正案）
- 資料-2 第3回議事録概要（案）
- 資料-3 委員会の議題について
- 資料-4 「交通安全見える化」プランについて
- 資料-5 要対策箇所の整備効果及び検証（案）について
- 資料-6 新規要対策箇所の抽出基準（案）について
- 資料-7 広報活動の考え方・進め方（案）について

参考資料

- 参考-1 事前記者発表資料
- 参考-2 昨年度の効果検証の結果について
- 参考-3 要対策箇所カルテ（素案）
- 参考-4 崇善小学校前交差点リーフレット
- 参考-5 崇善小学校前交差点説明会記者発表資料（案）

その他資料

- 委員名簿
- 座席表
- 新規抽出箇所候補リスト（案）
- 「見える化」で変わる道路行政
- 要対策箇所見える化プラン リーフレット（9箇所）

神奈川県安全性向上委員会規約（改正案）

（名称）

第1条 本会議は「神奈川県安全性向上委員会（以下、「委員会」という）」と称する。

（目的）

第2条 委員会は、神奈川県内の安全性向上について、公正・中立的な立場から、交通事故特性の分析、要対策箇所の選定及び要対策箇所の事故対策の立案を行い、これらを公表し、道路利用者の理解・協力ならびに注意喚起を図ることを目的とする。

（所掌事項）

第3条 委員会は、前条の目的を達成するために、以下の事項について実施するものとする。

- (1) 交通事故特性の分析
- (2) 要対策箇所の選定方針の立案及び、選定方針の修正並びに要対策箇所の選定
- (3) 要対策箇所の事故対策の立案、整備効果の検証
- (4) その他必要な事項

（構成）

第4条 委員会は、別紙に掲げる委員で構成する。

2 委員の追加・変更は、委員会の承認を要するものとする。

（第三者性）

第5条 委員は、委員会の目的に照らし、公正・中立な立場から特定の行政機関及び特定利害関係者等の利害を代表してはならない。

（委員の任期）

第6条 委員の任期は、委員会の所掌事項を完了するまでとする。

（委員長）

第7条 委員会には委員長をおくものとする。

2 委員長が職務を遂行できない場合は、予め委員長から指名する委員がその職務を代理する。
3 委員長は、必要に応じて委員以外の関係者の出席を求めることができる。

（委員会の運営）

第8条 委員会は、委員長の発議に基づいて開催する。

2 委員会は、委員会の運営にあたり必要な資料等を事務局に求めることができる。

（守秘義務）

第9条 委員は、個人情報など公開することが望ましくない情報を漏らしてはならない。

（委員会資料の公開）

第10条 委員会に提出された資料は、公開の対象とする。

（事務局）

第11条 事務局は、国道交通省関東地方整備局横浜国道事務所交通対策課に置くものとする。

（その他）

第12条 この規約に定めるもののほか必要な事項は、その都度審議して定めるものとする。
また、本規約の改正等は、本委員会の審議を経て行うことができるものとする。

付則 この規約は、平成17年12月6日から施行する。

この規約は、平成18年11月20日から施行する。

第3回神奈川県安全性向上委員会

議事録概要(案)

日 時：平成18年3月22日（水）14：00～16：00
場 所：パンパシフィックホテル横浜B1Fプリンスの間

【議事録概要】

①対策箇所案について

- ・「追突注意」、「歩行者横断注意」の注意喚起表示は、看板を設置したり路面に書いたりする区別をどのように決めているのか。
 ⇒路面表示、看板をセットで考えているのが基本的な考え方としている。「追突注意」については、経験的に路面表示がよいのではないか。
- ・追突事故は、遠くからでも視認できる警戒信号や予告信号も有効な対策である。
- ・左折、右折時の二輪車のすり抜け対策として、ドライバーの視線は基本的には路側のほうには行かないので、信号柱にミラーを共架するのもひとつ的方法である。
- ・データ的に、特に夜間が多いというようなことがあるのか。
 ⇒「昼夜別」でみると夜が事故件数は高いというところもある。また、アンケート結果からも横断歩行者が見づらいという意見もある。
- ・横断歩行者の事故対策として分離信号についてどのような考え方を持っているのか。
 ⇒基本的には歩車分離の信号が望ましいと思う。渋滞等を考慮し必要な箇所について、改良を進めている。
- ・路面表示や看板を交差点の付近であまりに多くし過ぎると、ドライバーから見て標識その他がわかりづらくなり、脇見運転の原因となることもあるので、調和のとれた設置を検討すべきである。
- ・交差点のコンパクト化や横断歩道の前出し、停止線の前出し等の対策案があるが、曲がったあとに横断歩道がすぐ近くにあると却って危険なのではないか。
 ⇒ドライバーの視距や車両軌跡を考慮して設置する。
- ・右折、左折時のレーンマーキング等の対策は、交差点のかなり手前から行うのか、それとも交差点直近だけなのか。
 ⇒左折レーンについては、交差点直近で事故が発生している事例が多いため、直近に設置するのが良いとしている。右折レーンについては、交差点をコンパクト化して、交差点内の通過時間をなるべく短くすることが一つの対策である。

②今後のスケジュールについて

- ・対策効果の確認は、どういう観点からの効果を評価するのか。
 ⇒事故件数のほか地元住民の意見等を組みあせて傾向をつかみたいと考えている。

以上

1. 委員会の議題について

委員会における検討の流れ・スケジュール

平成17年度

第1回委員会（平成17年12月6日）

- ・神奈川県安全性向上プロジェクトの概要について
- ・神奈川県の地域特性・交通事故状況・交通事故特性について
- ・要対策箇所の選定方針について

第2回委員会（平成18年1月31日）

- ・要対策箇所の選定について
- ・パブリックコメントの実施について

第3回委員会（平成18年3月22日）

- ・要対策箇所の事故対策方針について

平成18年度

第4回委員会（平成18年11月20日）

- ・「交通安全見える化」プランの進め方（案）について
- ・要対策箇所の整備効果及び検証（案）について
- ・新規要対策箇所の抽出基準（案）について
- ・広報活動の考え方・進め方（案）について

第5回委員会（平成19年3月中旬頃）

- ・新規要対策箇所の選定について
- ・整備効果及び検証のとりまとめと今後の継続調査方針について
- ・広報活動の実施状況について

平成18年度委員会の主な議題

第4回委員会の主な議題

- 「交通安全見える化」プランの進め方（案）について
 - ・H18年度以降の「見える化」PDCAサイクルの内容
- 要対策箇所の整備効果及び検証（案）について
 - ・要対策箇所の整備効果や検証方法の考え方
- 新規要対策箇所の抽出基準（案）について
 - ・新規要対策箇所の抽出の考え方
- 広報活動の考え方・進め方（案）について
 - ・広報活動の考え方
 - ・広報ツールの選定
 - ・広報活動のスケジュール



第5回委員会の主な議題

- 新規要対策箇所の選定について
 - ・新規要対策箇所の選定
 - ・選定箇所における対策方針の確認
- 整備効果及び検証のとりまとめと今後の継続調査方針について
 - ・要対策箇所における整備効果の報告
 - ・今後の継続調査方針
- 広報活動の実施状況について
 - ・活動報告
 - ・今後の広報について



神奈川県安全性向上プロジェクトの推進

2. 「交通安全見える化」プランの進め方（案）について

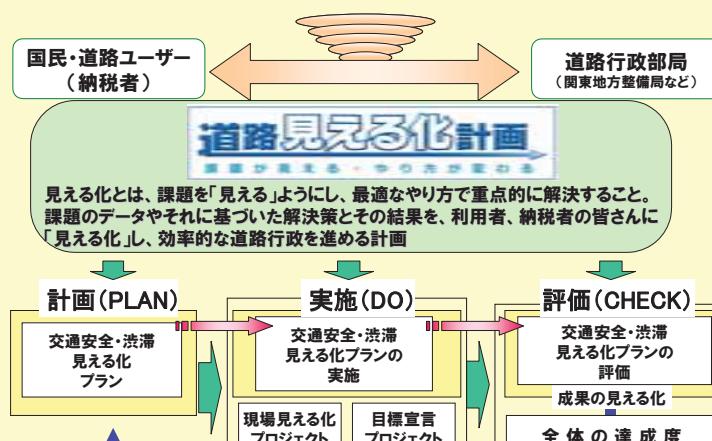
PDCAサイクルに即した「見える化」の実践

「道路見える化計画」とは

道路の現状などを示す様々なデータから課題を「見える化」し、最適な方法で重点的に解決してゆきます。

また、課題や解決策を県民の皆様に「見える化」し、道路行政を進めてまいります。

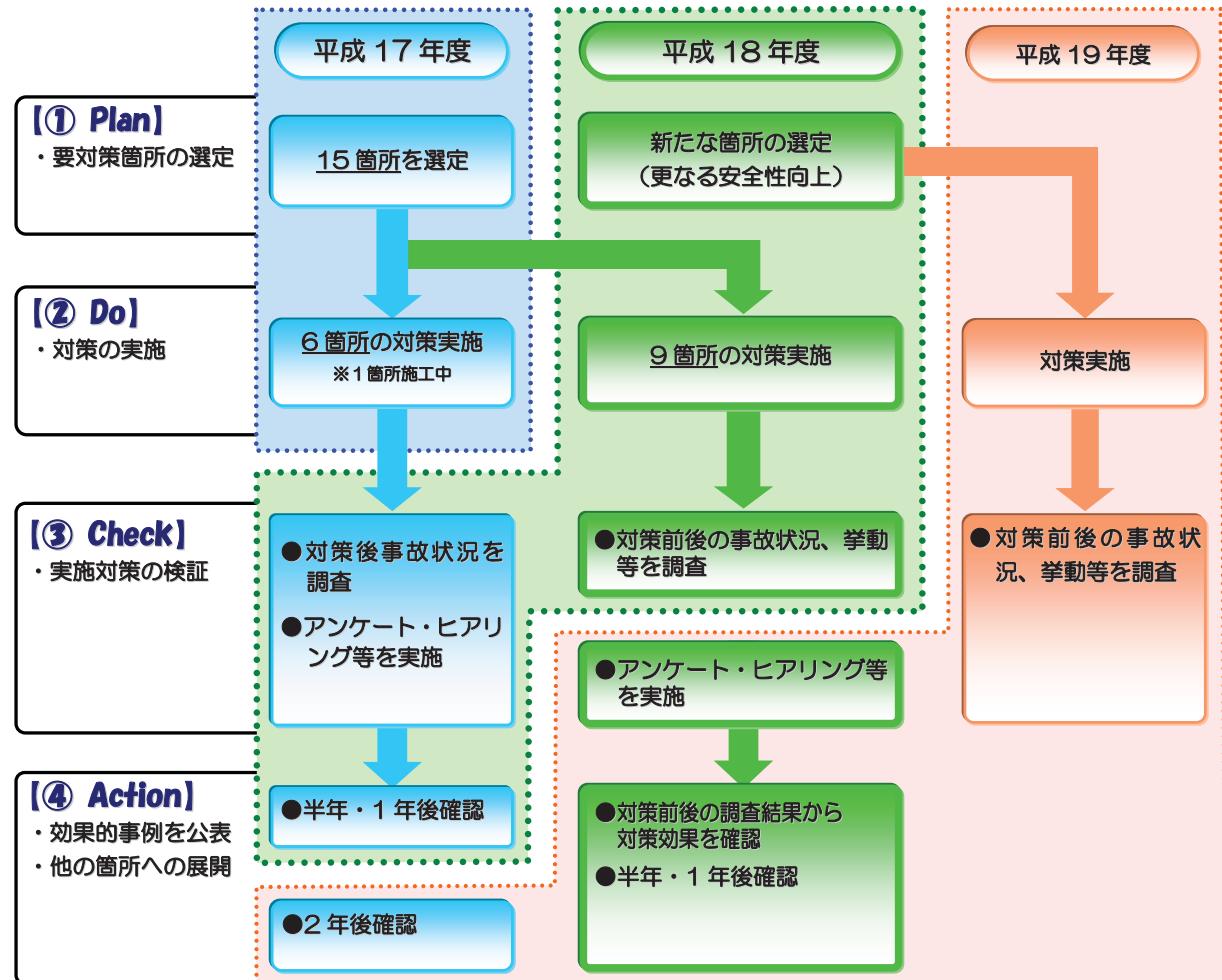
新しい道路行政マネジメントを実践する委員会



新しい道路行政マネジメントの取り組み

出典：関東地方整備局資料

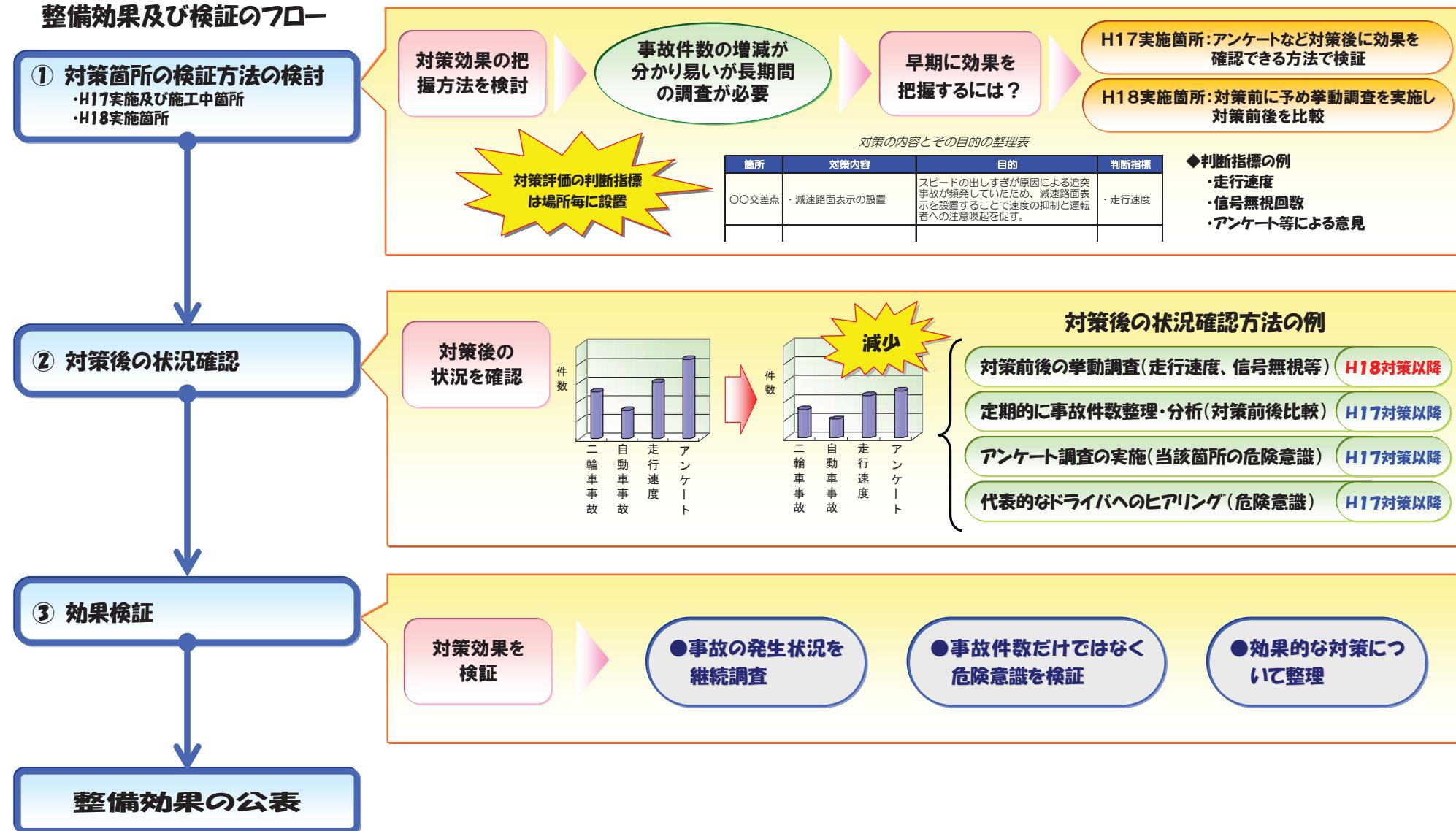
H18年度以降の「見える化」PDCAサイクルの内容



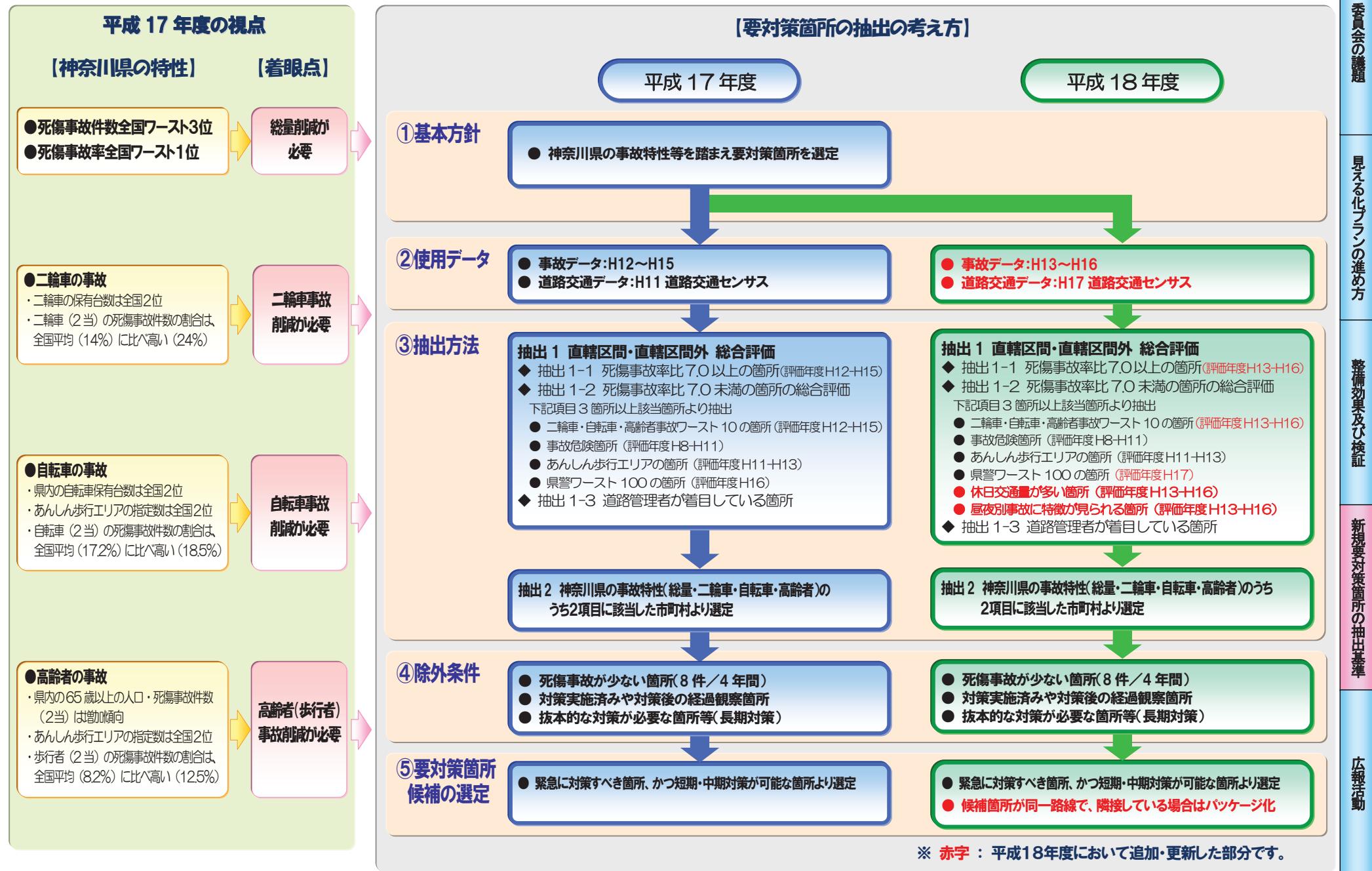
■	: H17年度内容	■	: H17年度実施
■	: H18年度内容	■	: H18年度実施
■	: H19年度内容	■	: H19年度実施

3. 要対策箇所の整備効果及び検証（案）について

- 整備効果の検証は、PDCAサイクルを基本とし、「次に繋がる検証」が必要です。
- 要対策箇所の検証は、①検証方法の検討(H17対策)、②対策後の状況確認、③効果検証の流れで実施します。



4. 新規要対策箇所の抽出基準（案）について



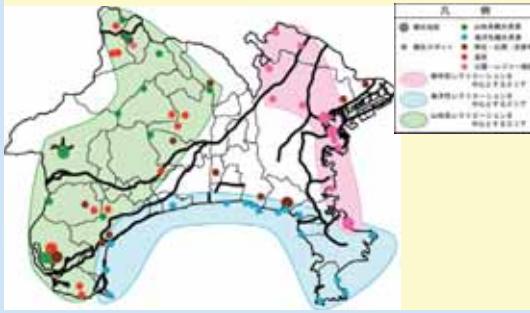
平成18年度の視点(案)

背景

● 神奈川県内全域に広がる観光地

神奈川県は、京浜地域の都市型レクリエーション、湘南・三浦半島地域の海洋性レクリエーション、及び箱根・丹沢地域の山地系レクリエーション等の豊富な観光資源に恵まれており、これらの観光資源は県内各地に広がって存在している。

(出典：平成17年度神奈川のみちづくり業績概要書 平成17年12月)



● 神奈川県の入込観光客数の回復

県内観光地を訪れる観光客数は、平成元年の1億6,055万人をピークとして減少傾向を示していたが、平成12年からは増加が続き、平成15年に1億5千万人台に回復してきている。

(日本の総人口：1億2,776万人 H17国勢調査より)

(出典：グラフでみる神奈川 2006.3 神奈川県)



神奈川県の休日・夜間交通事故状況

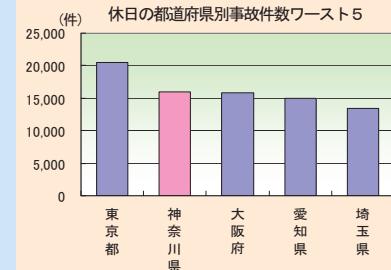
① 休日(土日)の事故

・神奈川県の休日事故件数は、

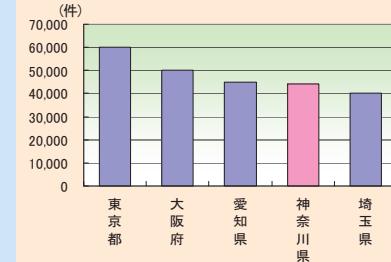
全国ワースト2位

・神奈川県の休日平日(休日/平日)の事故件数比は、**全国ワースト1位**

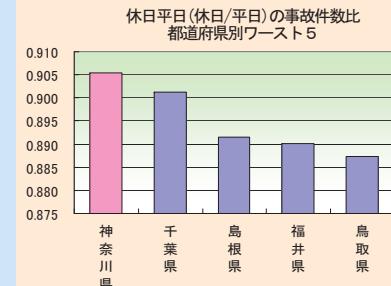
休日の事故件数は全国ワースト2位



【参考】平日の都道府県別事故件数ワースト5



休日平日(休日/平日)の事故件数比は全国ワースト1位



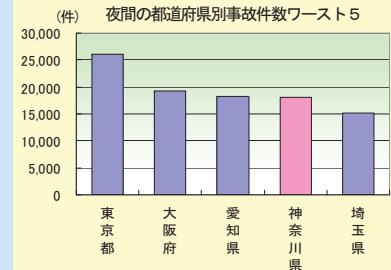
② 夜間の事故

・神奈川県の夜間事故件数は、

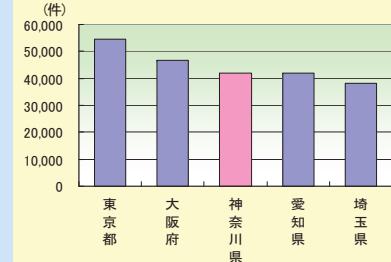
全国ワースト4位

・神奈川県の夜間(夜/昼)の事故件数比は、**全国ワースト4位**

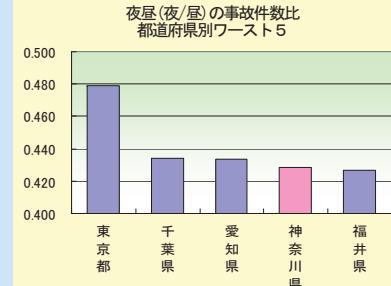
夜間の事故件数は全国ワースト4位



【参考】昼間の都道府県別事故件数ワースト5



夜間(夜/昼)の事故件数比は全国ワースト4位



休日や夜間の事故に着目

神奈川県の道路交通状況(H17 道路交通セミナー)

●平日の平均交通量は約23,200台/24h、全国平均と比べて約2.9倍である。

●休日交通量の平日交通量に対する割合が高い路線として、箱根や伊豆方面等の観光地や行楽地へ通じる一般道路もあげられている。

●夜間交通量(19時～翌7時)の24h交通量に対する比率は一般国道で**約34%**。

国土交通省重点施策(H18.8.4)

- 1 国際競争力の強化・観光立国
 - ・「美しい日本」の創成に向けた観光地づくり
- 2 地域の自立と競争力強化
- 3 安全・安心基盤の確立
- 4 柔軟で豊かな生活環境の創造
- 5 「新・成熟社会」形成に向けた政策プラットフォーム

パブリックコメントからの知見

- 地域外や沿道店舗利用の車に危機感
 - ・駐車場入口付近の駐車待ち車両にヒヤリ
 - ・地域外買い物客の無理な沿道店舗進入にヒヤリ
- 夜間の歩行者に危機感
 - ・夜間に横断中の歩行者が確認できずヒヤリ

課題

(道路交通) 全国の中でも交通量が多く、事故の危険は高い。
(観光や行楽による休日交通量、夜間交通量も多い)

(パブコメ) 地域外や沿道店舗利用の車、夜間の歩行者に危機感を感じている。
(重点施策) 「ひと・もの・くるま」の需要拡大が予想され、施策推進と同時に、地域の交通安全性をいかに向上させてゆくかが課題。

休日や夜間の事故に着目

●課題解決のため、休日や夜間事故等に着目します。

■出典：交通事故統計年報 平成17年版

5. 広報活動の考え方・進め方（案）について

- 情報公開は、情報の受け手（県民全体・対象箇所の周辺住民・道路利用者）に対して、適性が高いメディアを使うことと、施策の実施タイミングに合わせることが重要です。
(例えば、崇善小学校前交差点説明会など対象箇所の周辺住民に対する情報公開では、より具体的な話をしてこと「話を伺う」ことが必要です。)
- 情報提供は、コミュニティFMの利用なども視野に入れ、広域情報だけではなく対象箇所周辺地域へのきめ細かい情報提供を行います。



広報ツールの選定（案）～路線と地域、事故特性に着目した選定～

グループ	交差点名	地域性	事故特性	広報のねらい	適性が高い広報手法
A 県平均型	国道16号 横浜市君ヶ崎	・金沢文庫駅、吉野町から約500m以内。 ・沿道は商店、住宅が道路に近接。	【被害者内訳】 ①県平均に近い。 (二輪車・自動車) ・全体の約7割が自動車類。 (県平均：自動車39.4%，二輪車24.0%)	【ターゲット】 ①道路利用者 ②周辺住民 【広報内容】 ①道路利用者：注意喚起 ②周辺住民：対策内容、注意喚起	○横断幕(君ヶ崎、歩道橋) ○道路情報板(交差点の手前) ○看板(道路利用者向け)
	横浜市吉野町3丁目				
	横浜市保土ヶ谷公園入口				
	(主)藤棚伊勢崎線 横浜市初音町				
B 自転車事故多発型	国道1号 大磯町相模貨物駅前	・平塚駅、大磯駅から約1km～2km以内。 ・尻手駅(川崎駅より1駅)から100m。 ・住宅が特に多い。 ・ホームセンター、小学校が隣接。 ・自転車や歩行者が通行。 ・自転車の国道1号横断不可。(尻手)	【被害者内訳】 ①自転車の割合が非常に高い。 (県平均：自転車18.5%)	【ターゲット】 ①周辺住民 【広報内容】 ①周辺住民：対策内容、注意喚起	○看板(周辺住民向け) ○横断幕(崇善小、歩道橋) ○地元コミュニティFM ※リーフレット(崇善小) ※説明会開催(崇善小)
	大磯町花水橋東				
	平塚市崇善小学校前				
	川崎市尻手				
C 自動車事故多発型	国道246号 厚木市妻田伝田	・本厚木駅から約1.5～2.5km。 ・住宅地。 ・大型ショッピングセンターや病院が隣接。	【被害者内訳】 ①自動車の割合が非常に高い。 (県平均：自動車39.4%)	【ターゲット】 ①道路利用者 【広報内容】 ①道路利用者：注意喚起	○道路情報版、横断幕 ○看板(道路利用者向け)
	厚木市市立病院前				
要対策箇所の全体として実施				【ターゲット】 ・県民全体、県外からの観光客 【広報内容】 ・取り組み方針、注意喚起	○インターネット ○記者発表

広報活動のスケジュール（案）

昨年度の効果検証の結果について

平成17年度施工箇所における事故発生状況を事故図（平成18年9月末時点）より下表に整理した。 ■ : 対策施工中 ○ : 対策後の事故取得期間

No	管理者	路線名	交差点名	抽出時事故件数							事故件数（平成18年9月末時点）														対策効果 (件/年)	事故類型別	対策内容
				H12	H13	H14	H15	計	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	対策後計					
1	横浜国道	一般国道15号	川崎市川崎区 新川橋交差点 14-003970K H18.3対策完了	20	15	18	13	66	17	3	0	2	2	0	2	2	1	0	-	-	-	7 (14)	2.5	追突	4	・交差点改良 (コンパクト化)	
																						出会い頭		2	・デリネータ設置		
																						正面衝突		1	・左折専用レーンの設置		
																									・矢印現示の新設		
5	相武国道	一般国道16号	相模原市高根 淵野辺交差点 14-003693K H18.2対策完了	7	15	9	13	44	11	0	0	1	1	2	1	0	2	0	-	-	-	7 (12)	-1	追突	3	・カラー舗装	
																						正面衝突		2	・排水性舗装		
																						出会い頭		1	・指導線・右折導流線の設置		
																						左折時		1			
6	相武国道	一般国道16号	相模原市相模大野 東林間入口交差点 14-003678K H17.8対策完了	9	16	17	13	55	14	0	0	0	0	0	1	0	1	0	-	-	-	3 (4)	9.75	追突	2	・排水性舗装	
																						出会い頭		1	・右折のセパレート化		
																									・区画線高輝度化		
13	神奈川県	一般国道467号	大和市深見台 光ヶ丘交差点 14-001333K H18.1対策完了	10	7	13	7	37	9.3	1	1	1	0	0	1	0	0	0	-	-	-	4 (6)	3.25	追突	2	・横断防止柵設置	
																						左折時		1	・指導線設置		
																						右折時		1			
14	川崎市	(主)津久井 道	川崎市多摩区 多摩警察署前交差点 14-000512K H18.3対策完了	7	15	8	8	38	9.5	2	0	1	1	0	0	0	0	0	-	-	-	1 (2)	7.5	追突	1	・カラー舗装	
																						・指導線設置					

※括弧内の数字は、対策完了年月～9月末までの期間が1年未満の場合に、経過月数から年間件数に引き延ばした件数。

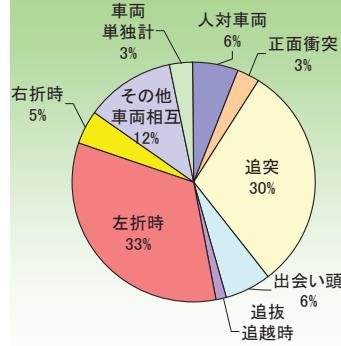
要対策箇所カルテ(素案)

交差点名	新川橋交差点(国道15号)	選定指標	左折時事故、追突事故
場 所	川崎市川崎区貝塚1		

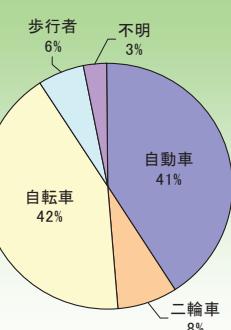
参考-3

道路見える化計画
誰かが見えたら、やり方が変わる

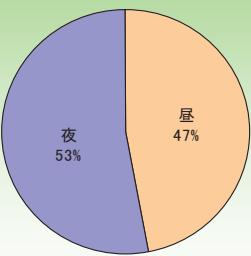
事故状況(H12~H15)



▲事故類型別発生割合



▲当事者別発生割合(2当)

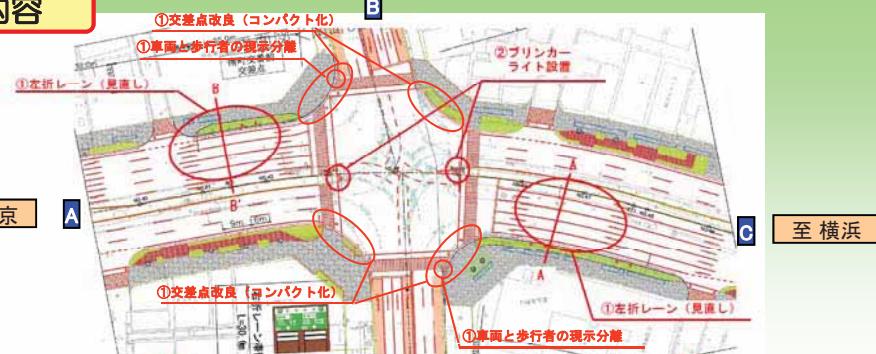


▲昼夜別発生割合

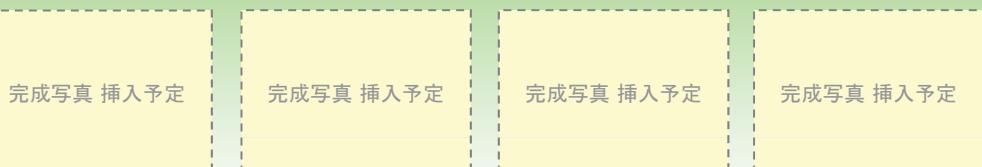
事故図



対策内容



完成写真



対策効果の検証

※事故減少件数=抽出時平均-対策後12ヶ月

■抽出時の事故件数

H12	H13	H14	H15	H16	H17	合計	平均
20	15	18	13			66	16.5

■対策後の事故件数

対策後6ヶ月 (実績値)	対策後12ヶ月 (換算値)
7	14

■対策効果

事故減少件数※
2.5



知っていましたか？自転車も乗れば車の仲間入り。

自転車の交通ルールとマナーについて！



一時停止

～安全確認に、油断は禁物！～

「一時停止」の標識のある場所では必ず一旦停止し、左右後方の安全確認を行いましょう。

※一時停止違反：3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金。



歩行者優先

～歩道上では、歩行者の通行が優先です！～

「自転車通行可」の標識のある歩道では、自転車は歩道の車道側を徐行し、歩行者の通行を妨害しないようにしましょう。

※歩行者通行妨害：2万円以下の罰金又は料金。



信号無視

～信号無視は、もっとも危険です！～

信号は絶対に守りましょう。自転車は道路交通法により、軽車両として、車の一種であることが定められています。

※信号無視：3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金。



二人乗り、携帯電話の使用はできません！

自転車は二人乗りできません（専用シートの幼児除く）。

無灯火や携帯電話を使用しての運転も禁止されています。

※二人乗り：2万円以下の罰金又は料金

※携帯電話を使用しての運転：安全運転義務違反になる場合があります。



「道路見える化計画」とは、道路の現状などを示す様々なデータから課題を「見える化」し、最適な方法で重点的に解決してゆく手法です。

また、課題や解決策を県民の皆様に「見える化」し、道路行政を進めてゆく取組みを言います。

問合せ先：国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所 交通対策課

T E L : 0 4 5 - 3 1 6 - 3 5 4 1

ホームページ：<http://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/>



百紙合算100%再生紙を使用しています



国道1号 崇善小学校前交差点

～みんなで取り組む交通事故の対策～

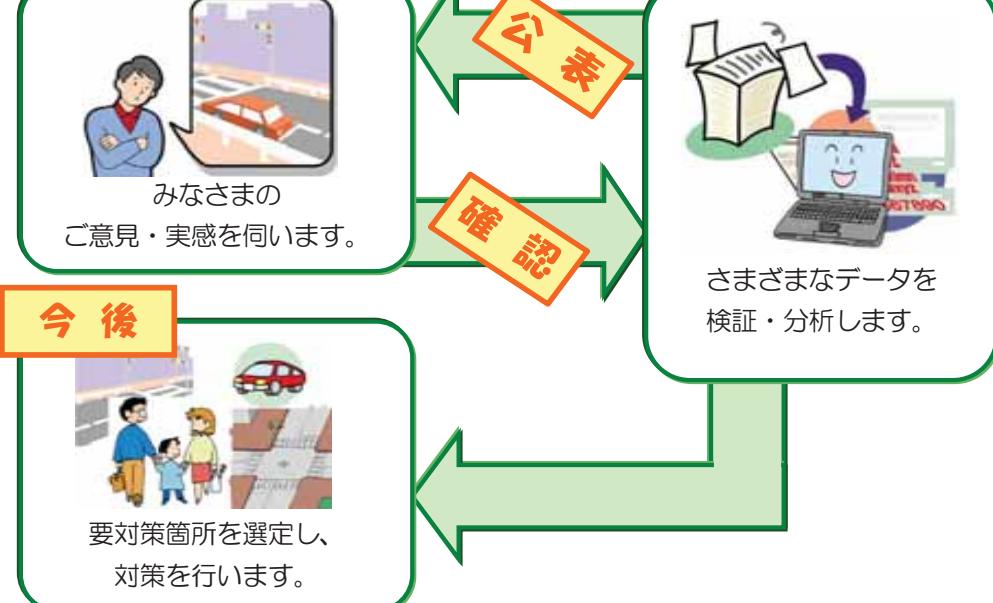
交通安全 見える化 プラン

現状



追突事故

左折時事故



神奈川県安全性向上委員会

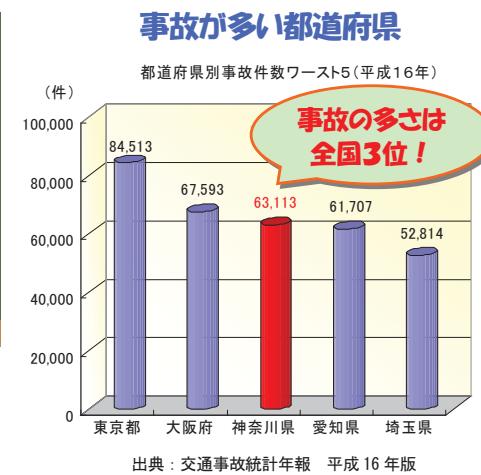
知っていましたか？



神奈川県は、全国でも交通事故がたいへん多いところです。

交通事故の多さは、全国3位！

- ① 神奈川県の交通事故は、全国で3番目に多い数です。
- ② 毎日170件の交通事故がおきています。



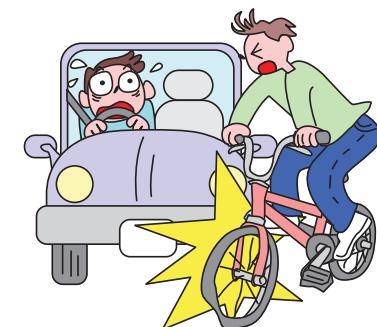
知っていましたか？



神奈川県の交通事故には特徴があります。

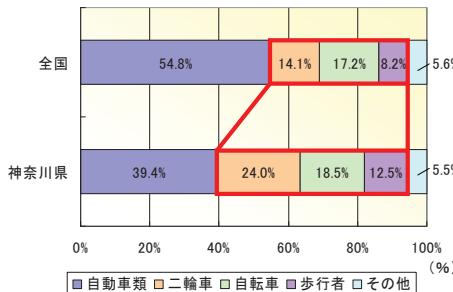
交通事故の特徴！

- ① 二輪車、自転車、高齢者の交通事故がたくさんおきています。
- ② 高齢者(65歳以上)の交通事故が増えています。



二輪車・自転車・高齢者の事故が多発！

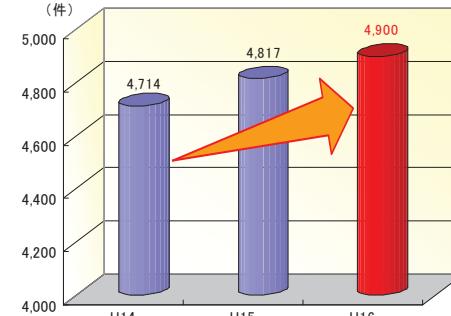
当事者別の死傷事故件数(第二当事者)



出典：交通事故統計年報 平成16年版

高齢者の事故が増加傾向！

65歳以上の死傷件数(第2当事者)の推移(平成16年)



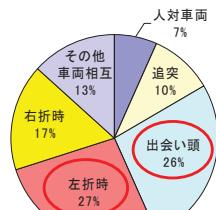
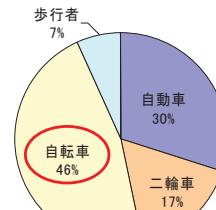
知っていましたか？



崇善小学校前交差点の交通事故にも特徴があります。

小学校前の交差点事故！

- ① 自転車が被害者となる事故がたくさんおきています。
- ② 左折時、出会い頭、右折時、追突事故がおきています。

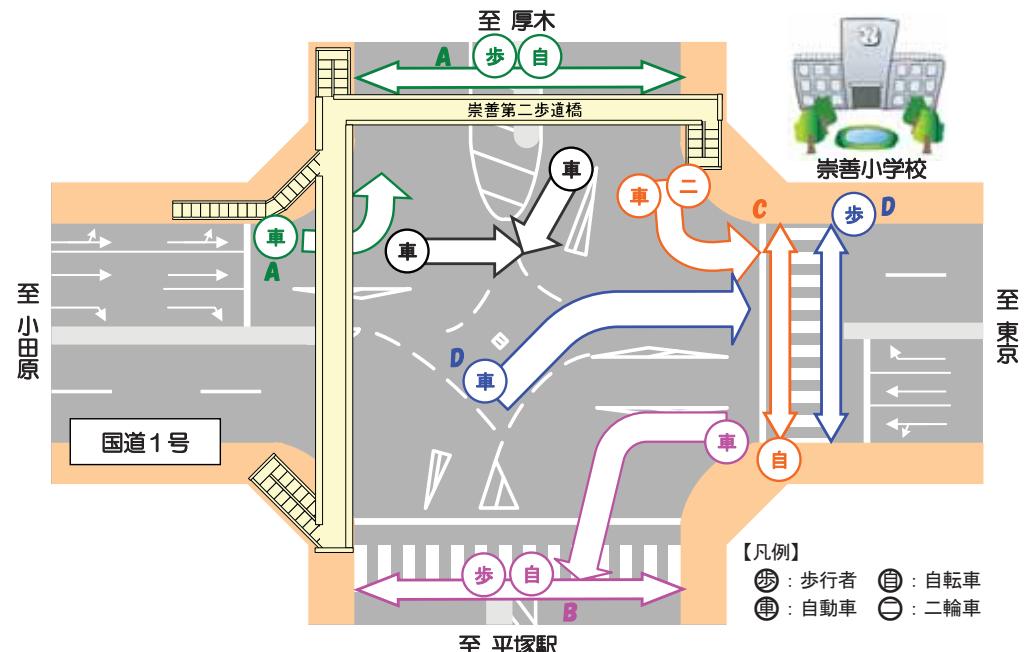


当該箇所(神奈川県平塚市明石町)



〈地域の皆様からの主な意見〉

- A 小田原方面から左折しようとした際、歩行者・自転車と接触しそうになりヒヤリとした。
- B 交差点の横断歩道を渡っている時、急に左折する車が来たのでヒヤリとした。
- C 厚木方面から東京方面へ左折する時、横断歩道があると思わなかったので、横断中の歩行者にヒヤリとした。
- D 平塚駅方面から東京方面に右折する際に、歩行者信号が赤なのに歩行者が横断し、ヒヤリとした。



国道1号 崇善小学校前交差点 交通事故削減に向けた地域との取り組み

記者発表資料（案） 崇善小学校前交差点 現地説明会の実施報告

- ・神奈川県安全性向上委員会は、県内の交通事故削減を目指し、P D C Aサイクルに基づいた神奈川県安全性向上プロジェクトを推進しています。
- ・県内の交通事故は二輪車や自転車事故、高齢者事故が多く、地域との取り組みが急務と考えています。
- ・このため、昨年度選定した15箇所の要対策箇所のうち、地域住民と関わりの深い自転車事故の割合が最も高い崇善小学校前交差点（自転車が被害者の割合 46%）を選定し、地域との取組事例の模範としていきたいと考えています。

崇善小学校前交差点の取組

P l a n (計画)

○平塚市の崇善小学校前交差点付近は、左折時事故や自転車事故、二輪車事故等が多発しているため、要対策箇所として選定されています。（別紙1参照）

【地域の皆様からの主な意見】

- ◆歩道橋の陰から自転車や歩行者が出てきてヒヤリとした。
- ◆自転車で横断歩道を渡っている時、左折してくる車にハットした。

D o (実施)

○崇善小学校前交差点付近は通学路であり、交通事故削減に向けた地域との取り組みを実施する箇所として選定しました。
 ○去る11月21日には、現地診断や現地説明会を通して、崇善小学校交差点の対策について、地域の方々と事故対策を検討し、皆様から大変貴重なご意見を頂きました。（別紙2参照）

C h e c k (確認)

○対策施工後は一定期間毎に実施した対策の効果を把握し、崇善小学校付近の皆様に公表していく予定です。

A c t i o n (反映)

○評価結果から改善点を抽出し、追加対策の必要性検討に反映していく予定です。

平成18年 ○○月○○日

神奈川県安全性向上委員会

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、
 横浜市政記者会、横浜ラジオ・テレビ記者会、川崎記者クラブ

問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 tel 045-316-3541
 交通対策課長 長沼 泉

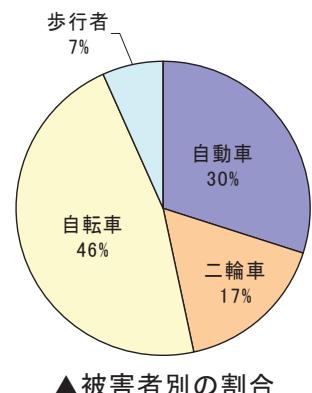
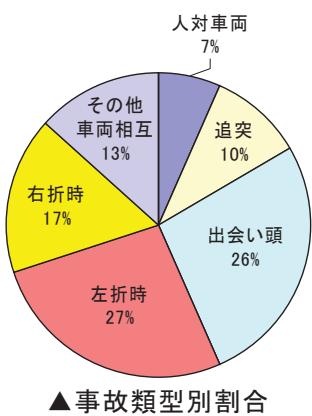
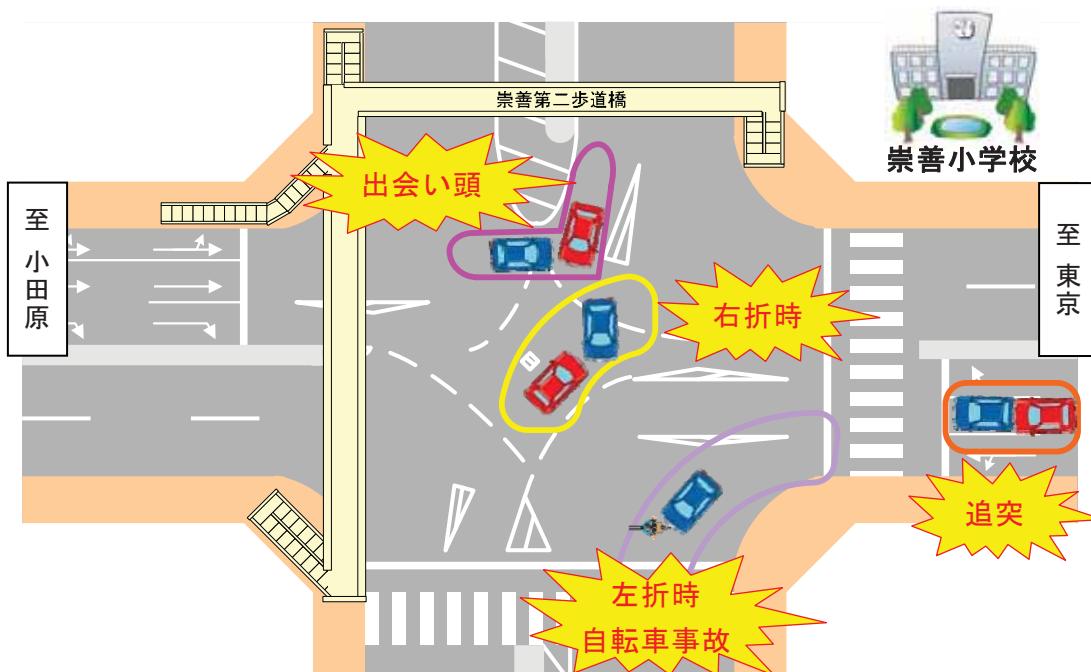
崇善小学校交差点 位置図



当該箇所：神奈川県平塚市明石町（国道 1 号）

事故発生要因 (H17 年度の分析結果)

- 交差点面積が広く、交差点内における交通の整流化が図れないことが原因と想定され、全体の27%が左折事故、26%が出会い頭事故、17%が右折事故、10%が追突事故となっています。
- 事故の被害者では自転車が46%、二輪車が17%となっています。



現地診断及び説明会の実施

当日のスケジュール、内容を記載

説明会の写真

- ・テーブルを囲んで協議している場面

現地診断の写真

- ・交差点で参加者に説明している場面

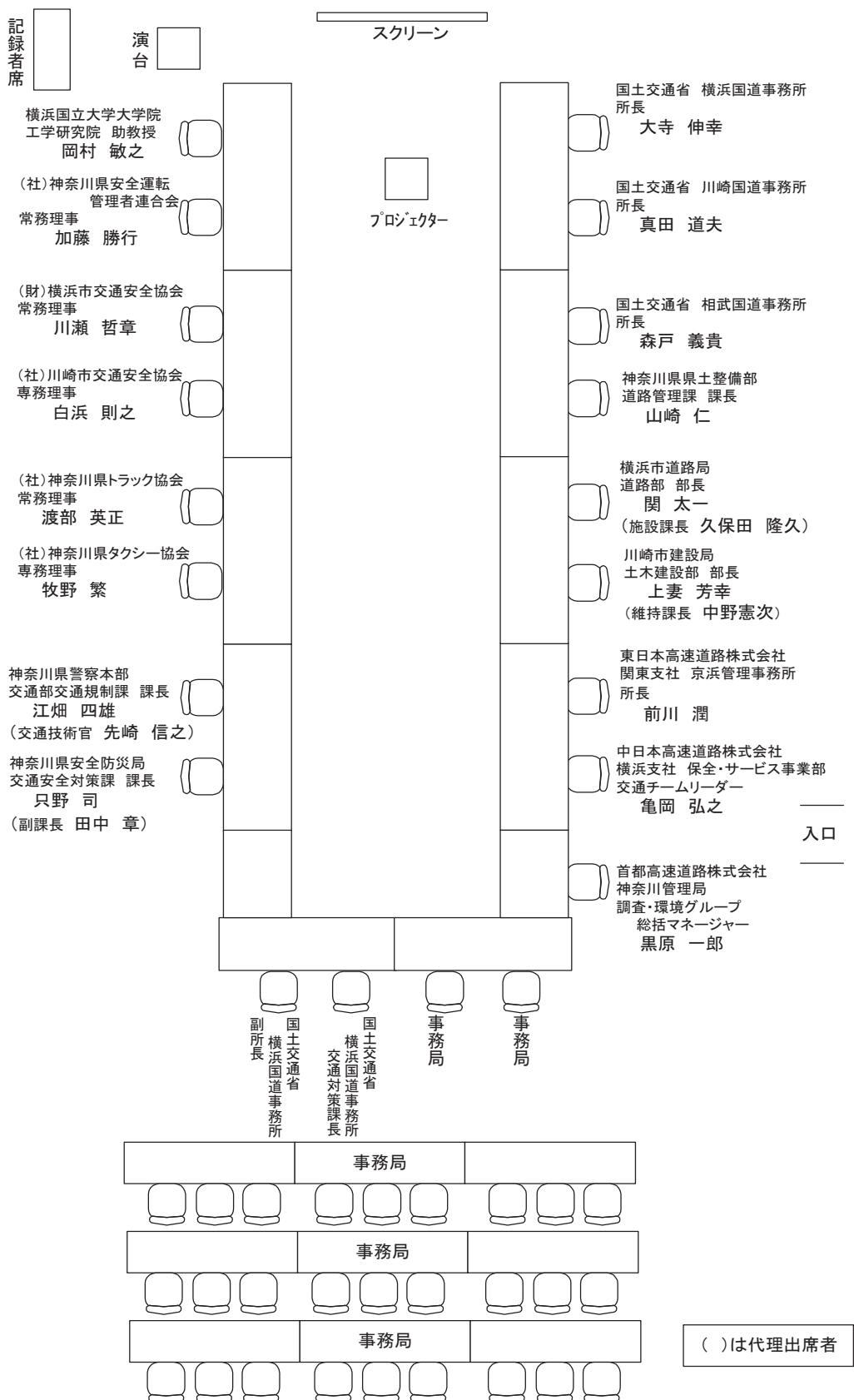
神奈川県安全性向上委員会 委員名簿

◎ 横浜国立大学大学院工学研究院 助教授	岡村 敏之
(社) 神奈川県安全運転管理者連合会 常務理事	加藤 勝行
(財) 横浜市交通安全協会 常務理事	川瀬 哲章
(社) 川崎市交通安全協会 専務理事	白浜 則之
(社) 神奈川県トラック協会 常務理事	渡部 英正
(社) 神奈川県タクシー協会 専務理事	牧野 繁
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所長	大寺 伸幸
国土交通省 関東地方整備局 川崎国道事務所長	真田 道夫
国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所長	森戸 義貴
神奈川県警察本部交通部交通規制課長	江畠 四雄
(代理 : 交通技術官)	先崎 信之)
神奈川県安全防災局交通安全対策課長	只野 司
(代理 : 副課長)	田中 章)
神奈川県県土整備部道路管理課長	山崎 仁
横浜市道路局道路部長	関 太一
(代理 : 施設課長)	久保田 隆久)
川崎市建設局土木建設部長	上妻 芳幸
(代理 : 維持課長)	中野 憲次)
東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所長	前川 潤
中日本道路株式会社 横浜支社 保全・サービス事業部 交通チームリーダー	亀岡 弘之
首都高速道路株式会社 神奈川管理局 調査・環境グループ 総括マネージャー	黒原 一郎
◎ 委員長	(敬称略)

第4回 神奈川県安全性向上委員会 座席表

日時：平成18年11月20日（月） 10:00～12:00

場所：パンパシフィックホテル横浜 プリンスの間



神奈川県の交通事故「見える化」プラン

～要対策箇所の事業効果確認の段階へ～

記者発表資料

今年度の神奈川県安全性向上プロジェクトの展開について

これまでの取組

- 神奈川県安全性向上委員会（平成17年12月設置、委員長：岡村敏之 横浜国立大学大学院工学研究院助教授）では、神奈川県内の交通事故の現状等に関するデータから課題を「見える化」し、交通事故の削減に向けた取り組みを行っています。
- 神奈川県における交通事故の特性としては、①死傷事故件数が多い、②死傷事故率が高い、③高齢者事故が増加傾向、④二輪車事故の割合が高い、⑤自転車事故の割合が高い等があげられます（別紙1参照）。
- 昨年度は、事故データの分析結果、県内の道路管理者が問題視している箇所から、緊急に対策を実施すべき要対策箇所として、15箇所を選定しました。

今年度の取組

- 今年度は、2回の委員会を実施し、昨年度抽出した15箇所（内、平成17年度に5箇所施工完了、平成18年度に10箇所施工）について順次施工を行い、その事業効果のフォローアップを行っていく予定。
- 今年度の予定
 - ・第4回委員会 平成18年11月20日（月）パンパシフィックホテル横浜
 - ・第5回委員会 平成19年 3月中旬予定

平成18年11月17日
神奈川県安全性向上委員会

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、
横浜市政記者会、横浜ラジオ・テレビ記者会、川崎記者クラブ

問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 tel 045-316-3541

計画課長 土肥 学

交通対策課長 長沼 泉

いよいよ次のステップへ！～要対策箇所15箇所のフォローアップ～

■神奈川県の事故特性

●若目1
死傷事故件数が多い(※1)

●若目2
二輪車・自転車の事故が多い(※2)

●若目3
高齢者の事故が多い(※3)

■要対策箇所の抽出

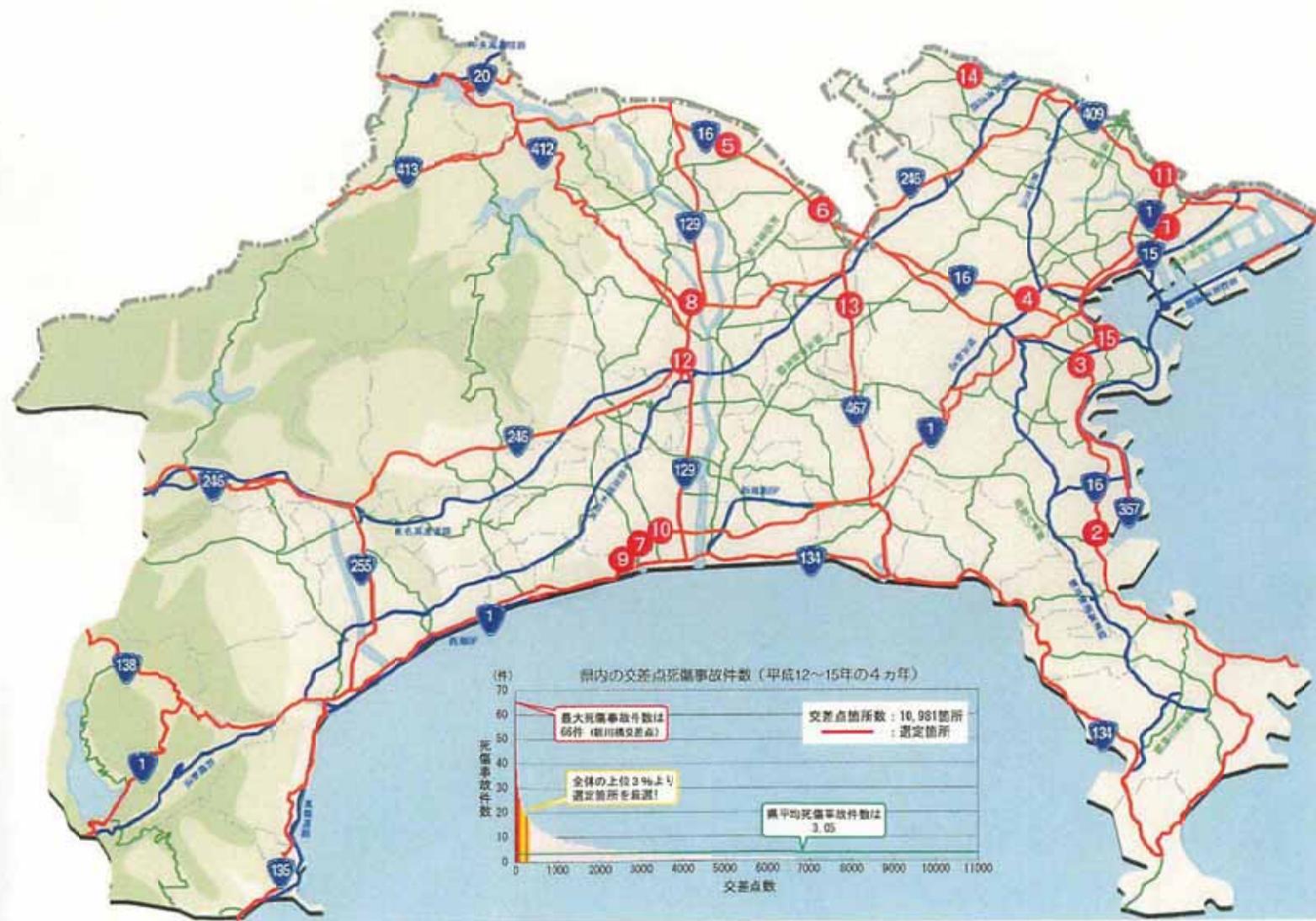
死傷事故率比が高い箇所、県内の事故特性等と合致している箇所・・・

抽出

■要対策箇所

県内の15箇所を厳選

詳細に分析



※1 死傷事故件数が多い！！

都道府県別死傷事故件数ワースト5（平成16年）



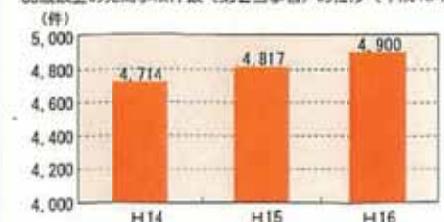
※2 三輪車・自転車の事故が多い！！

当事者別の死傷事故件数（第2当事者）



※3 高齢者の事故が増加傾向！！

65歳以上の死傷事故件数（第2当事者）の推移（平成16年）



要対策箇所一覧表

【凡例】◎：実施済、○：施工中、●：実施予定

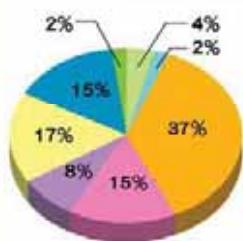
番号	路線名	地先名	箇所名	選定理由	対策状況
1	国道15号	川崎市川崎区	新川橋交差点	死傷事故率	◎
2	国道16号	横浜市金沢区	君ヶ崎交差点	死傷事故率	●
3	国道16号	横浜市南区	吉野町3丁目交差点	死傷事故率	●
4	国道16号	横浜市保土ヶ谷区	保土ヶ谷公園入口交差点	死傷事故率	●
5	国道16号	相模原市高根	淵野辺交差点	自転車事故等総合的に選出	◎
6	国道16号	相模原市相模大野	東林間入口交差点	事故件数	◎
7	国道1号	大磯町高麗	相模貨物駅前交差点	自転車事故等総合的に選出	●
8	国道246号	厚木市妻田	妻田伝田交差点	自転車事故等総合的に選出	●
9	国道1号	大磯町高麗	花水橋東交差点	自転車事故等総合的に選出	●
10	国道1号	平塚市明石町	崇善小学校前交差点	自転車事故等総合的に選出	●
11	国道1号	川崎市幸区	尻手交差点	自転車事故等総合的に選出	●
12	国道246号	厚木市松枝	市立病院前交差点	自転車事故等総合的に選出	●
13	国道467号	大和市深見台	光ヶ丘交差点	死傷事故率	◎
14	(主)津久井道	川崎市多摩区	多摩警察署前交差点	県警ワースト100等総合的に選出	◎
15	(主)藤棚伊勢佐木線	横浜市中区	初音町交差点	自転車事故等総合的に選出	○

新規抽出箇所候補リスト（案）

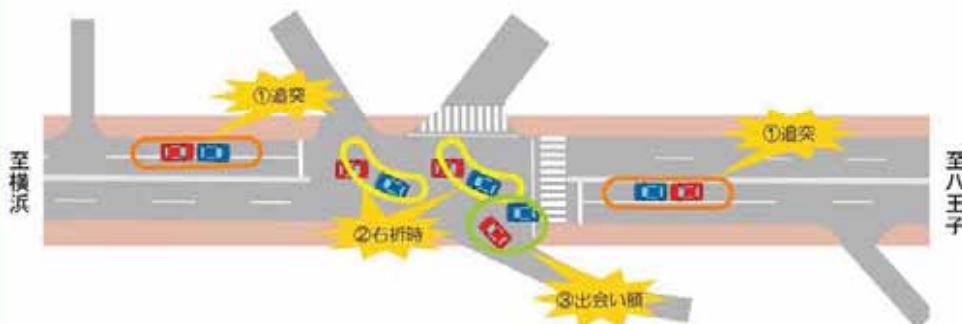
番号	道路管理者	道路種別	路線番号	路線名	市町村名	交差点名	年別死傷事故件数				H17使用データ (H11センサス) (H12-H15事故)				H18使用データ (H17センサス) (H13-H16事故)				抽出条件	除外条件	備考									
							H11 2	H12 3	H13 4	H14 5	H15 6	H16 7	日交通量	事故件数 （4年計）	死傷事故率	死傷事故率 （平均事故率比3.7）	日交通量	事故件数 （4年計）	死傷事故率	死傷事故率 （平均事故率比4.5）										
																			二死輪傷事故件数 （2件当）	自転車交通事故件数 （2件当）	死傷事故件数 （2件当）	6死傷事故件数 （2件当）	事故危険箇所	交通事故多発区間 (地點)	県警ワースト100	休日交通が平日交通より多い箇所上	夜間事故件数 ワースト10	対策済み箇所 (会議後回収観察箇所)	対策決定箇所	
1	神奈川県	4	65	厚木愛川津久井線	相模原市	(交差点名無し) 津久井町根小屋 1307-7	2	0	2	4	8	3154	8	1737.3	12.6	2,801	14	3423.4	25.5				○				○	事故率比7.0以上		
2	横浜市	6	201	保土ヶ谷停車場線	横浜市保土ヶ谷区	(交差点名無し) 横浜市保土ヶ谷区 帷子町2丁目69	15	5	3	3	6	15,747	26	1130.9	8.2	5,554	17	2096.5	15.6				○				○	事故率比7.0以上		
3	川崎市	4	9	川崎府中	川崎市多摩区	稻生橋	2	10	4	7	4	11,896	23	1324.3	9.6	9,614	25	1781.1	13.2				○		○	○	○	事故率比7.0以上		
4	横浜国道	3	16	一般国道16号	横浜市保土ヶ谷区	保土ヶ谷公園入口	14	15	17	6	9	20,358	52	1749.5	12.7	20,072	47	1603.8	11.9				○					○	事故率比7.0以上	
5	横浜市	3	133	一般国道133号	横浜市中区	本町五丁目	6	3	5	14	20	40,741	28	470.7	3.4	19,029	42	1511.8	11.2				○		○	○		事故率比7.0以上		
6	横浜国道	3	15	一般国道15号	川崎市川崎区	新川橋	20	15	18	13	18	42,611	66	1060.9	7.7	30,860	64	1420.5	10.6		○	○	○			○	○	○	事故率比7.0以上	
7	神奈川県	6	404	遠藤茅ヶ崎線	藤沢市	遠藤松原	0	3	6	1	1	7,836	10	874.1	6.3	5,458	11	1380.4	10.3				○				○		事故率比7.0以上	
8	神奈川県	6	301	大船停車場線	鎌倉市	大船駅東口交通広場前	3	6	7	0	0	8,239	16	1330.1	9.7	6,630	13	1343.0	10.0				○		○			○	事故率比7.0以上	
9	横浜国道	3	16	一般国道16号	横須賀市	三春町二丁目	7	2	4	9	6	13,584	22	1109.3	8.1	11,680	21	1231.5	9.2				○			○		○	事故率比7.0以上	
10	横浜国道	3	16	一般国道16号	横浜市保土ヶ谷区	峯小学校入口	4	10	12	9	4	20,358	35	1177.6	8.6	20,072	35	1194.3	8.9				○						事故率比7.0以上	
11	神奈川県	3	134	一般国道134号	逗子市	渚橋	2	7	8	3	4	18,223	20	751.7	5.5	13,291	22	1133.7	8.4				○			○	○	○	事故率比7.0以上	
12	横浜国道	3	16	一般国道16号	横浜市保土ヶ谷区	興和台入口	9	13	5	20	12	48,164	47	668.4	4.9	35,558	50	963.1	7.2	○		○					○		事故率比7.0以上	
13	横浜国道	3	16	一般国道16号	横須賀市	追浜駅前	8	15	10	8	11	31,596	41	888.8	6.5	30,979	44	972.8	7.2	○		○							事故率比7.0以上	
14	神奈川県	4	43	藤沢厚木線	厚木市	松枝	1	0	6	6	6	13,943	13	638.6	4.6	12,723	18	969.0	7.2				○	○	○	○	○	○	事故率比7.0以上	

現状と課題

事故類型の内訳



追突事故や右折事故、出会い頭が多発!



①追突事故



前方車両の速度が低い時に気付かず速度を落とさずに交差点へ進入しようと/or; ドライバーはヒヤリとする。

②右折時事故



交差点が大きくなるほど、右折する際の走行距離、対向車線を横切る時間が長くなるため、事故に遭う危険が高くなりヒヤリとする。

③出会い頭事故



縦込みや、縦断帯のある出入りの多い道路や出入り口は、突然自動車が飛び出し、ドライバーはヒヤリとする。

考えられる対策

追突事故や右折事故、出会い頭事故を減少させるための対策

追突事故対策 → 路面表示(追突注意)による注意喚起

右折時事故対策 → 指導線の改良による走行軌跡の安定

出会い頭事故対策 → 縦切り部改良による整流化

交通安全見える化プラン

神奈川県の事故は・・・

- 全国でワースト3位
- 一日平均170件発生

※データは平成16年の死傷事故件数による比較



県内約1,500kmの道路から、安全性が問題となっている15箇所を選定し、道路利用者アンケート結果を踏まえ対策案を立案。

道路の課題をデータできちんと把握します。

解決を急ぐべきところから重点的に対策します。

道路行政を、もっとわかりやすく「見える化」します。

道路見える化計画
誰がが見える - やり方が変わる

神奈川県安全性向上委員会

神奈川県の交通事故特性に基づき、要対策箇所候補を抽出

■県内の事故特性

死傷事故件数が多い
※1

神奈川県の事故特性

- 二輪車・自転車の事故が多い ※2
- 高齢者の事故が多い ※3

■要対策箇所の抽出

死傷事故率比が高い箇所、県内の事故特性等と合致している箇所・・・

■要対策箇所一覧表

県内の15箇所を厳選

番号	路線名	地名	箇所名	選定理由
1	一般国道15号	川崎市川崎区	新川橋交差点	死傷事故率
2	一般国道16号	横浜市都筑区	君ヶ崎交差点	死傷事故率
3	一般国道16号	横浜市港北区	西野町2丁目交差点	死傷事故率
4	一般国道16号	横浜市保土ケ谷区	保土ヶ谷公園入口交差点	死傷事故率
5	一般国道16号	相模原市南郷	羽野辺交差点	自転車事故
6	一般国道16号	相模原市大野	奥林間入口交差点	事故件数
7	一般国道1号	大磯町高麗	相模貧物駅前交差点	自転車事故
8	一般国道246号	藤沢市藤沢	藤沢長良交差点	自転車事故
9	一般国道1号	大磯町高麗	片瀬橋交差点	自転車事故
10	一般国道1号	平塚市若柴町	御殿小学校前	自転車事故
11	一般国道1号	川崎市中原区	元手	自転車事故
12	一般国道246号	横浜市桜新町	市立病院前	自転車事故
13	一般国道467号	大和市深谷台	光ヶ丘交差点	死傷事故率
14	(主) 深久井道	川崎市多摩区	多摩警察署前交差点	死傷事故率
15	(主) 駒岡伊勢佐木線	横浜市中区和泉町	初音町交差点	死傷事故率

※1 死傷事故件数が多い!!



保土ヶ谷公園入口交差点



事故件数の多い箇所を厳選!

県内の交差点死傷事故件数(平成12~15年の4カ年)



※2 三輪車・自転車の事故が多発!

当事者別の死傷事故件数(第2当事者)



※3 高齢者の事故が増加傾向!



1 相模貨物駅前交差点

現状と課題



追突事故や右左折事故が多発!!



考えられる対策

追突事故や右左折事故を減少させるための対策

- | | | |
|---------|---|----------------------|
| 追突事故対策 | → | 路面表示(追突注意)による注意喚起 |
| 右折時事故対策 | → | 指導線の改良による走行軌跡の安定 |
| 左折時事故対策 | → | 巻き込み縮小による左折車両の走行速度低下 |

交通安全見える化プラン

神奈川県の事故は・・

- 全国でワースト3位
■ 一日平均170件発生

*データは平成16年の死傷事故件数による比較



県内約1,500kmの道路から、安全性が問題となっている15箇所を選定し、道路利用者アンケート結果を踏まえ対策案を立案。

道路の課題をデータできちんと把握します。
解決を急ぐべきところから重点的に対策します。
道路行政を、もっとわかりやすく「見える化」します。

道路見える化計画

神奈川県安全性向上委員会

神奈川県の交通事故特性に基づき、要対策箇所候補を抽出

■県内の事故特性

死傷事故件数が多い
※1

神奈川県の事故特性

- 二輪車・自転車の事故が多い ※2
- 高齢者の事故が多い ※3

■要対策箇所の抽出

死傷事故率比が高い箇所、県内の事故特性等と合致している箇所・・・

■要対策箇所一覧表

県内の15箇所を厳選

番号	路線名	地名	箇所名	選定理由
1	一般国道15号	川崎市川崎区	新川橋交差点	死傷事故率
2	一般国道16号	横浜市都筑区	君ヶ崎交差点	死傷事故率
3	一般国道16号	横浜市港北区	西野町2丁目交差点	死傷事故率
4	一般国道16号	横浜市保土ケ谷区	保土ヶ谷山廻入口交差点	死傷事故率
5	一般国道16号	相模原市高根	河野辻交差点	自転車事故
6	一般国道16号	相模原市大野	東洋館入口交差点	事故件数
7	一般国道1号	大磯町高麗	相模貨物駅前交差点	自転車事故
8	一般国道246号	藤沢市津田	藤沢長久交差点	自転車事故
9	一般国道1号	大磯町高麗	相模大橋交差点	自転車事故
10	一般国道1号	平塚市堀内町	御殿小学校前	自転車事故
11	一般国道1号	川崎市中原区	戸手	自転車事故
12	一般国道246号	横浜市桜新町	市立病院前	自転車事故
13	一般国道467号	大和市深谷台	光ヶ丘交差点	死傷事故率
14	(主) 深久井道	川崎市多摩区	多摩警察署前交差点	死傷事故率
15	(主) 錦糸町駅	横浜市中区和泉町	和泉町交差点	死傷事故率

※1 死傷事故件数が多い!!



1 崇善小学校前交差点

現状と課題

事故類型の内訳



出会い頭や右左折事故が多発!



考えられる対策

追突事故や右左折事故等を減少させるための対策

追突事故対策



路面表示(追突注意)による注意喚起

右折時事故対策



指導線の改良による走行軌跡の安定

左折時事故対策



植栽の整理による見通し確保

出会い頭事故対策



停止線の前出し

交通安全見える化プラン

神奈川県の事故は・・・

- 全国で ワースト3位
- 一日平均170件発生

※データは平成16年の死傷事故件数による比較



県内約1,500kmの道路から、安全性が問題となっている15箇所を選定し、道路利用者アンケート結果を踏まえ対策案を立案。

道路の課題をデータできちんと把握します。

解決を急ぐべきところから重点的に対策します。

道路行政を、もっとわかりやすく「見える化」します。

道路見える化計画

誰でもが見える・やり方がわかる

神奈川県安全性向上委員会

神奈川県の交通事故特性に基づき、要対策箇所候補を抽出

■県内の事故特性

死傷事故件数が多い
※1

神奈川県の事故特性

- 二輪車・自転車の事故が多い ※2
- 高齢者の事故が多い ※3

■要対策箇所の抽出

死傷事故率比が高い箇所、県内の事故特性等と合致している箇所・・・

■要対策箇所一覧表

県内の15箇所を厳選

番号	路線名	地名	選定理由
1	一般国道15号	川崎市川崎区	死傷事故率
2	一般国道16号	横浜市都筑区	死傷事故率
3	一般国道16号	横浜市港北区	死傷事故率
4	一般国道16号	横浜市保土ヶ谷区	死傷事故率
5	一般国道16号	相模原市南郷	自転車事故
6	一般国道16号	相模原市大野	要件登録
7	一般国道1号	大磯町高麗	相模貧困駆前交差点
8	一般国道246号	藤沢市鎌田	自転車事故
9	一般国道1号	大磯町高麗	自転車事故
10	一般国道1号	平塚市昭和町	自転車事故
11	一般国道1号	川崎市中原区	自転車事故
12	一般国道246号	横浜市都筑区	自転車事故
13	一般国道467号	大和市深谷台	死傷事故率
14	(主) 津久井道	川崎市多摩区	死傷事故率
15	(主) 鎌倉伊勢佐木線	鎌倉市中区和音町	死傷事故率



※2 三輪車・自転車の事故が多発!!

当事者別の死傷事故件数（第2当事者）



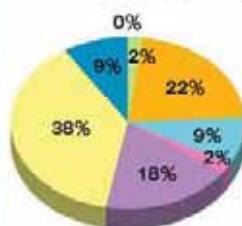
※3 高齢者の事故が増加傾向!!



1 尻手交差点

現状と課題

事故類型の内訳



追突事故や右左折事故が多発!



①追突事故



前方車両の速度が低い事に気付かず速度を落とさずに交差点へ進入しようとして、ドライバーはヒヤリとする。

②右折時事故



交差点が大きくなるほど、右折する際の歩行距離、対向車線を横切る時間が長くなるため、事故に陥る危険が高くなりヒヤリとする。

③左折時事故



渋滞時等、二輪車が路肩をすり抜け通行すると、左折自動車は確認が遅れ、ドライバーはヒヤリとする。

考えられる対策

追突事故や右左折事故を減少させるための対策

追突事故対策



路面表示(追突注意)による注意喚起

右折時事故対策



指導線の改良による走行軌跡の安定

左折時事故対策



法定外看板設置(すりぬけ二輪車注意)による注意喚起

交通安全見える化プラン

神奈川県の事故は・・・

- 全国で ワースト3位
- 一日平均170件発生

※データは平成16年の死傷事故件数による比較



県内約1,500kmの道路から、安全性が問題となっている15箇所を選定し、道路利用者アンケート結果を踏まえ対策案を立案。

道路の課題をデータできちんと把握します。

解決を急ぐべきところから重点的に対策します。

道路行政を、もっとわかりやすく「見える化」します。

道路見える化計画

誰がが見える - やり方が変わる

神奈川県安全性向上委員会

神奈川県の交通事故特性に基づき、要対策箇所候補を抽出

■県内の事故特性

死傷事故件数が多い
※1

神奈川県の事故特性

- 二輪車・自転車の事故が多い ※2
- 高齢者の事故が多い ※3

■要対策箇所の抽出

死傷事故率比が高い箇所、県内の事故特性等と合致している箇所・・・

■要対策箇所一覧表

県内の15箇所を厳選

番号	路線名	地名	箇所名	選定理由
1	一般国道15号	川崎市川崎区	新川橋交差点	死傷事故率
2	一般国道16号	横浜市都筑区	君ヶ崎交差点	死傷事故率
3	一般国道16号	横浜市港北区	西野町2丁目交差点	死傷事故率
4	一般国道16号	横浜市保土ケ谷区	保土ヶ谷山廻入口交差点	死傷事故率
5	一般国道16号	相模原市南郷	羽野辺交差点	自転車事故
6	一般国道16号	相模原市大野	奥林間入口交差点	事故件数
7	一般国道1号	大磯町高麗	相模貧物駅前交差点	自転車事故
8	一般国道246号	藤沢市鶴見	鶴見長谷交差点	自転車事故
9	一般国道1号	大磯町高麗	鶴見鶴見交差点	自転車事故
10	一般国道1号	平塚市船石町	根曽小学校前	自転車事故
11	一般国道1号	川崎市中原区	尻手	自転車事故
12	一般国道246号	藤沢市鶴見	市立鶴見前	自転車事故
13	一般国道467号	大和市深谷台	光ヶ丘交差点	死傷事故率
14	(主) 深久井道	川崎市多摩区	多摩警対直前交差点	死傷事故率
15	(主) 鎌倉伊勢佐木線	横浜市中区和泉町	初音町交差点	死傷事故率

尻手交差点



※2 三輪車・自転車の事故が多発!!

当事者別の死傷事故件数(第2当事者)



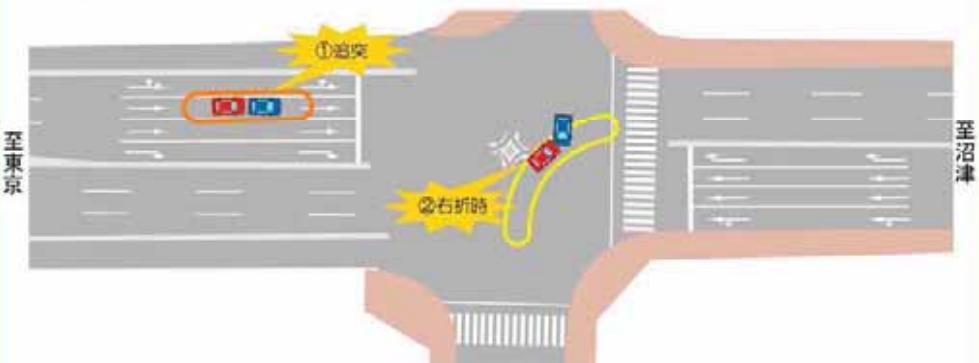
※3 高齢者の事故が増加傾向!!



現状と課題



追突事故や右折事故が多発!



①追突事故



前方車両の速度が低い事に気付かず速度を落とさずに交差点へ進入しようと、ドライバーはヒヤリとする。

②右折時事故



交差点が大きくなるほど、右折する際の走行距離、対向車線を横切る時間が長くなるため、事故に遭う危険が高くなりヒヤリとする。

考えられる対策

追突事故や右折事故を減少させるための対策

追突事故対策 → 路面表示(追突注意)による注意喚起

右折時事故対策 → 指導線の改良による走行軌跡の安定

交通安全見える化プラン

神奈川県の事故は・・・

- 全国で ワースト3位
- 一日平均170件発生

※データは平成16年の死傷事故件数による比較



県内約1,500kmの道路から、安全性が問題となっている15箇所を選定し、道路利用者アンケート結果を踏まえ対策案を立案。

道路の課題をデータできちんと把握します。

解決を急ぐべきところから重点的に対策します。

道路行政を、もっとわかりやすく「見える化」します。

道路見える化計画

誰でもが見える・やり方が変わる

神奈川県安全性向上委員会

神奈川県の交通事故特性に基づき、要対策箇所候補を抽出

■県内の事故特性

死傷事故件数が多い
※1

神奈川県の事故特性

- 二輪車・自転車の事故が多い ※2
- 高齢者の事故が多い ※3

■要対策箇所の抽出

死傷事故率比が高い箇所、県内の事故特性等と合致している箇所・・・

■要対策箇所一覧表

県内の15箇所を厳選

番号	路線名	地名	箇所名	選定理由
1	一般国道15号	川崎市川崎区	新川橋交差点	死傷事故率
2	一般国道16号	横浜市都筑区	君ヶ崎交差点	死傷事故率
3	一般国道16号	横浜市港北区	西野町3丁目交差点	死傷事故率
4	一般国道16号	横浜市保土ケ谷区	保土ヶ谷山廻入口交差点	死傷事故率
5	一般国道16号	相模原市南郷	羽野辺交差点	自転車事故
6	一般国道16号	相模原市大野	奥林間入口交差点	事故件数
7	一般国道1号	大磯町高麗	相模貧賤駅前交差点	自転車事故
8	一般国道246号	藤沢市鶴見	鶴見長沼交差点	自転車事故
9	一般国道1号	大磯町高麗	鶴見横濱交差点	自転車事故
10	一般国道1号	平塚市堀之内	御殿小学校前	自転車事故
11	一般国道1号	川崎市中原区	岡手	自転車事故
12	一般国道240号	藤沢市船橋	市立病院前	自転車事故
13	一般国道460号	大和市深井	光ヶ丘交差点	死傷事故率
14	(主) 深久井道	川崎市多摩区	多摩警察署前交差点	死傷事故率
15	(主) 鎌倉伊勢佐木線	横浜市中区和泉町	初音町交差点	死傷事故率

※1 死傷事故件数が多い!!



件数

100,000

80,000

60,000

40,000

20,000

0

抽出

■要対策箇所の抽出

死傷事故率比が高い箇所、県内の事故特性等と合致している箇所・・・

詳細に分析

※2 三輪車・自転車の事故が多発!!

当事者別の死傷事故件数（第2当事者）

全国



神奈川県



※3 高齢者の事故が増加傾向!!

65歳以上の死傷事故件数（第2当事者）の推移（平成16年）

件数



件数

5,000

4,800

4,600

4,400

4,200

4,000

件数

10,000

8,000

6,000

4,000

2,000

0

件数

11,000

9,000

7,000

5,000

3,000

1,000

0

件数

10,000

8,000

6,000

4,000

2,000

0

件数

11,000

9,000

7,000

5,000

3,000

1,000

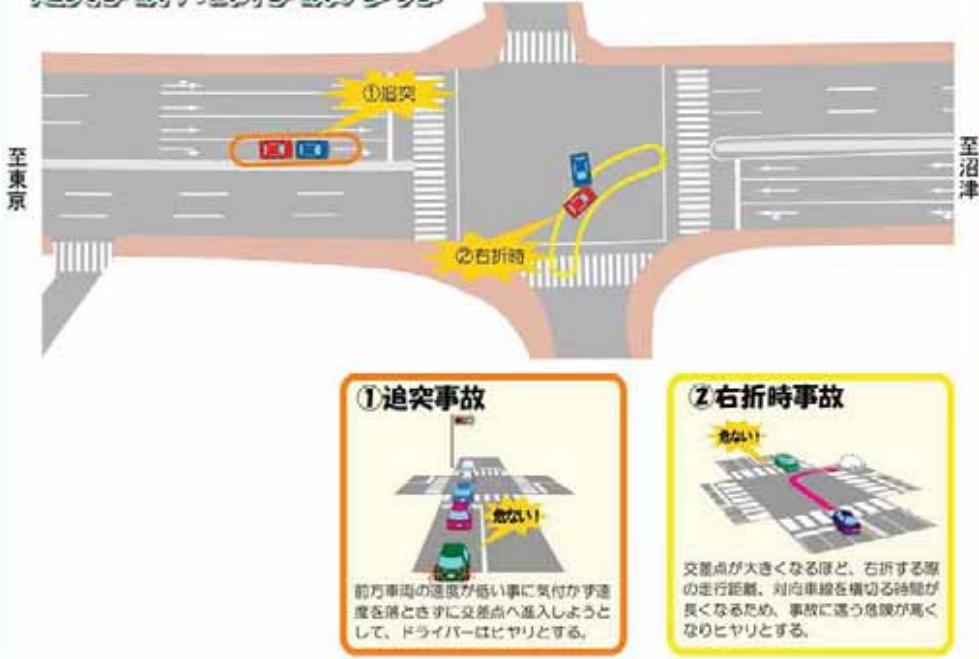
0

件数

現状と課題



追突事故や右折事故が多発!



考えられる対策

- 追突事故対策 → 路面表示(追突注意)による注意喚起
- 右折時事故対策 → 指導線の改良による走行軌跡の安定

追突事故や右折事故を減少させるための対策

交通安全見える化プラン

神奈川県の事故は・・・

- 全国でワースト3位
- 一日平均170件発生

※データは平成16年の死傷事故件数による比較



県内約1,500kmの道路から、安全性が問題となっている15箇所を選定し、道路利用者アンケート結果を踏まえ対策案を立案。

道路の課題をデータできちんと把握します。
解決を急ぐべきところから重点的に対策します。
道路行政を、もっとわかりやすく「見える化」します。

道路見える化計画
誰もが見える・やり方がわかる

神奈川県安全性向上委員会

神奈川県の交通事故特性に基づき、要対策箇所候補を抽出

■県内の事故特性

死傷事故件数が多い
※1

神奈川県の事故特性

- 二輪車・自転車の事故が多い ※2
- 高齢者の事故が多い ※3

■要対策箇所の抽出

死傷事故率比が高い箇所、県内の事故特性等と合致している箇所・・・

■要対策箇所一覧表

県内の15箇所を厳選

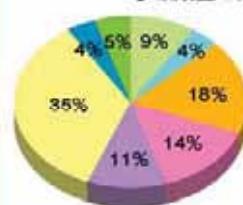
番号	路線名	地名	箇所名	選定理由
1	一般国道15号	川崎市川崎区	新川橋交差点	死傷事故率
2	一般国道16号	横浜市都筑区	君ヶ崎交差点	死傷事故率
3	一般国道16号	横浜市港北区	西野町2丁目交差点	死傷事故率
4	一般国道16号	横浜市保土ケ谷区	保土ヶ谷山廻入口交差点	死傷事故率
5	一般国道16号	相模原市高座	羽野辻交差点	自転車事故
6	一般国道16号	相模原市和倉大野	東洋館入口交差点	事故件数
7	一般国道1号	大磯町高麗	相模貧物駅前交差点	自転車事故
8	一般国道246号	藤沢市津田	藤田佐久交差点	自転車事故
9	一般国道1号	大磯町高麗	花木橋交差点	自転車事故
10	一般国道1号	平塚市鶴見町	御殿小学校前	自転車事故
11	一般国道1号	川崎市中原区	元手	自転車事故
12	一般国道246号	藤沢市松根	市立病院前	自転車事故
13	一般国道467号	大和市深谷台	光ヶ丘交差点	死傷事故率
14	(主) 深久井道	川崎市多摩区	多摩警察署前交差点	死傷事故率
15	(主) 鎌倉伊勢佐木線	横浜市中区和音町	初音町交差点	死傷事故率

※1 死傷事故件数が多い!!



現状と課題

事故類型の内訳



追突事故や右左折事故が多発!



①追突事故



前方車両の速度が低い事に気付かず速度を落とさずに交差点へ進入しようとして、ドライバーはヒヤリとする。

②右折時事故



交差点が大きくなるほど、右折する際の走行距離、対向車線を横切る時間が長くなるため、事故に遭う危険が高くなりヒヤリとする。

③左折時事故



渋滞時等、二輪車が路肩をすり抜け通行すると、左折自転車は確認が遅れ、ドライバーはヒヤリとする。

考えられる対策

追突事故や右左折事故を減少させるための対策

追突事故対策 → 路面表示(追突注意)による注意喚起

右折時事故対策 → 指導線の改良による走行軌跡の安定

左折時事故対策 → 巻き込み改良、標識整理による見通し確保

交通安全見える化プラン

神奈川県の事故は・・・

- 全国で ワースト3位
- 一日平均170件発生

※データは平成16年の死傷事故件数による比較



県内約1,500kmの道路から、安全性が問題となっている15箇所を選定し、道路利用者アンケート結果を踏まえ対策案を立案。

道路の課題をデータできちんと把握します。

解決を急ぐべきところから重点的に対策します。

道路行政を、もっとわかりやすく「見える化」します。

道路見える化計画

誰が見える - やり方が変わる

神奈川県安全性向上委員会

神奈川県の交通事故特性に基づき、要対策箇所候補を抽出

■県内の事故特性

死傷事故件数が多い
※1

神奈川県の事故特性

- 二輪車・自転車の事故が多い ※2
- 高齢者の事故が多い ※3

■要対策箇所の抽出

死傷事故率比が高い箇所、県内の事故特性等と合致している箇所・・・

■要対策箇所一覧表

県内の15箇所を厳選

番号	路線名	地名	箇所名	選定理由
1	一般国道16号	川崎市川崎区	新川橋交差点	死傷事故率
2	一般国道16号	横浜市都筑区	君ヶ崎交差点	死傷事故率
3	一般国道16号	横浜市港北区	西町台1丁目交差点	死傷事故率
4	一般国道16号	横浜市保土ケ谷区	保土ヶ谷山廻入口交差点	死傷事故率
5	一般国道16号	相模原市南郷	羽野辺交差点	自転車事故
6	一般国道16号	相模原市大野	奥林間入口交差点	事故件数
7	一般国道1号	大磯町高麗	相模貧賤駅前交差点	自転車事故
8	一般国道246号	藤沢市藤沢	藤沢長谷交差点	自転車事故
9	一般国道1号	大磯町高麗	片瀬横川交差点	自転車事故
10	一般国道1号	平塚市堀之内	御殿小学校前	自転車事故
11	一般国道1号	川崎市中原区	戸手	自転車事故
12	一般国道246号	横浜市都筑区	市立病院前	自転車事故
13	一般国道467号	大和市深谷台	光ヶ丘交差点	死傷事故率
14	(主) 深久井道	川崎市多摩区	多摩警戒署前交差点	死傷事故率
15	(主) 駒岡伊勢佐木線	横浜市中区和泉町	初音町交差点	死傷事故率

※1 死傷事故件数が多い!!



※2 三輪車・自転車の事故が多発!!

当事者別の死傷事故件数（第2当事者）

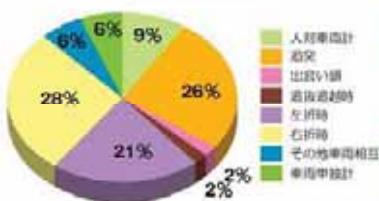


※3 高齢者の事故が増加傾向!!



現状と課題

事故類型の内訳



追突事故や右左折事故が多発!

②右折時事故



交差点が大きくなるほど、右折する際の走行距離、対向車線を横切る時間が長くなるため、事故に遭う危険度が高くなりヒヤリとする。



①追突事故



前方車両の速度が低い時に気付かず速度を落とさずに交差点へ流入しようと、ドライバーはヒヤリとする。

至 横須賀市

③左折時事故



洗浄栓等、二輪車が路肩をすり抜け通行すると、左折自動車は確認が遅れ、ドライバーはヒヤリとする。

考えられる対策

追突事故や右左折事故を減少させるための対策

追突事故対策



路面表示(追突注意)による注意喚起

右折時事故対策



指導線の改良による走行軌跡の安定

左折時事故対策



巻き込み縮小による左折車両の走行速度低下

交通安全見える化プラン

神奈川県の事故は・・・

- 全国で ワースト3位
- 一日平均170件発生

※データは平成16年の死傷事故件数による比較



県内約1,500kmの道路から、安全性が問題となっている15箇所を選定し、道路利用者アンケート結果を踏まえ対策案を立案。

道路の課題をデータできちんと把握します。

解決を急ぐべきところから重点的に対策します。

道路行政を、もっとわかりやすく「見える化」します。

道路見える化計画

誰が見える - やり方が変わる

神奈川県安全性向上委員会

神奈川県の交通事故特性に基づき、要対策箇所候補を抽出

■県内の事故特性

死傷事故件数が多い
※1

神奈川県の事故特性

- 二輪車・自転車の事故が多い ※2
- 高齢者の事故が多い ※3

■要対策箇所の抽出

死傷事故率比が高い箇所、県内の事故特性等と合致している箇所・・・

■要対策箇所一覧表

県内の15箇所を厳選

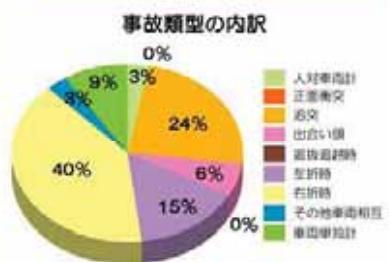
詳細に分析



1 花水橋東交差点

現状と課題

事故類型の内訳



追突事故や右左折事故が多発!



①追突事故



前方車両の速度が低い事に気付かず速度を落とさずに交叉点へ進入しようとして、ドライバーはヒヤリとする。

②右折時事故



交差点が大きくなるほど、右折する際の歩行距離、対面車線を横切る時間が長くなるため、事故に陥る危険が高くなりヒヤリとする。

③左折時事故



巷み込みが大きいと、自転車が速度を落とさず左折するため、横断歩行者・自転車はヒヤリとする。

考えられる対策

追突事故対策



追突事故や右左折事故を減少させるための対策

右折時事故対策



法定外看板(追突注意)による注意喚起

左折時事故対策



指導線の設置による走行軌跡の安定(対策済)

滞留スペースの確保

交通安全見える化プラン

神奈川県の事故は・・・

- 全国で ワースト3位
- 一日平均170件発生

※データは平成16年の死傷事故件数による比較



県内約1,500kmの道路から、安全性が問題となっている15箇所を選定し、道路利用者アンケート結果を踏まえ対策案を立案。

道路の課題をデータできちんと把握します。

解決を急ぐべきところから重点的に対策します。

道路行政を、もっとわかりやすく「見える化」します。

道路見える化計画

誰が見える - やり方が変わる

神奈川県安全性向上委員会

神奈川県の交通事故特性に基づき、要対策箇所候補を抽出

■県内の事故特性

死傷事故件数が多い
※1

神奈川県の事故特性

- 二輪車・自転車の事故が多い ※2
- 高齢者の事故が多い ※3

■要対策箇所の抽出

死傷事故率比が高い箇所、県内の事故特性等と合致している箇所・・・

■要対策箇所一覧表

県内の15箇所を厳選

番号	路線名	地名	箇所名	選定理由
1	一般国道15号	川崎市川崎区	新川橋交差点	死傷事故率
2	一般国道16号	横浜市都筑区	君ヶ崎交差点	死傷事故率
3	一般国道16号	横浜市港北区	西野町2丁目交差点	死傷事故率
4	一般国道16号	横浜市保土ケ谷区	保土ヶ谷山廻入口交差点	死傷事故率
5	一般国道16号	相模原市南郷	羽野辻交差点	自転車事故
6	一般国道16号	相模原市和倉大野	東洋館入口交差点	事故件数
7	一般国道1号	大磯町高麗	相模貧物駅前交差点	自転車事故
8	一般国道246号	藤沢市藤田	藤田長沼交差点	自転車事故
9	一般国道1号	大磯町高麗	松木橋交差点	自転車事故
10	一般国道1号	平塚市朝日町	御番小学校前	自転車事故
11	一般国道1号	川崎市中原区	戸手	自転車事故
12	一般国道246号	藤沢市柏原	市立病院前	自転車事故
13	一般国道467号	大和市深谷台	光ヶ丘交差点	死傷事故率
14	(主) 深久井道	川崎市多摩区	多摩警察署前交差点	死傷事故率
15	(主)詳細不動産木暮	横浜市中区和音町	和音町交差点	死傷事故率



※2 三輪車・自転車の事故が多発!!

当事者別の死傷事故件数(第2当事者)



※3 高齢者の事故が増加傾向!!

